令和８年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	手話を学ぼう
2	実施社会福祉協議会	久喜市社会福祉協議会
3	協力団体	久喜市手話サークル
4	活動年月日	令和８年７月２３日
5	活動場所	鷲宮中央コミュニティセンター　会議室
6	内容	すぐに使えるあいさつや名称等、簡単な手話を学び、楽しみながら手話とふれあう。
7	活動の様子	

前半は、耳が聞こえないと困ることについて参加者へ質問があったり、ろう者の方から実際に困った経験談のお話がありました。





後半は、単語の勉強や単語を使ったコミュニケーションの練習がありました。

参加者の方より

★難しかったけれど、小学校の手話やその他にもいろいろな手話ができるようになりました。

★ものを買うときや、微妙なニュアンスの気持ちを伝えることが難しそうだと思いました。

といった感想をいただきました！

ろう者の方からは、トラックの音が聞こえず、クラクションを何度も押されていて周りから変な目で見られた、電車の遅延のアナウンスが聞こえず困った等、お話がありました。



令和８年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	保育ボランティア体験
2	実施社会福祉協議会	久喜市社会福祉協議会
3	協力団体	鷲宮保育園
4	活動年月日	令和８年７月２８日、２９日
5	活動場所	鷲宮保育園
6	内容	子どもたちと一緒に遊んで、保育士の仕事を体験する。
7	活動の様子	







１日目は天気があまりよくなかったため
室内遊びをメインに活動しました。

２日目は晴れて暑くなったので、
プールや外遊びのお手伝い、
日本舞踊の見学等を行いました。

保育士を目指す参加者もいて、
積極的に子どもや保育士に声をかけ
ていました。

参加者の方より

- 保育士というお仕事を間近で体験させていただいて、子どもたちとたくさん触れ合い、楽しかったのはもちろん、保育士の難しさや大変さを学べました。
- 最初は緊張しましたが、子どもたちが名前を呼んでくれたり、一緒に遊ぼう！と手を引いてくれたので、私も笑顔で接することができました。
- 保育士には子どもを大切に思う気持ちだけではなく、体力や判断力、責任感も必要な仕事だと学ぶことができました。

といった感想をいただきました！

令和８年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	点字を知ろう＆点字を探そう＆点字を書こう
2	実施社会福祉協議会	久喜市社会福祉協議会
3	協力団体	久喜点字サークルぎんなん
4	活動年月日	令和８年８月４日
5	活動場所	ふれあいセンター久喜
6	内容	点字について学び、点字の名刺作りや施設内の点字探しを通して理解を深める。
7	活動の様子	

点字を知ろう





いろんなところに点字があることに気づきました！

点字を探そう



点字を書こう



点字の名刺を作りました！

◆ 参加者の感想 ◆

- いろんな所に点字があることに、びっくりしました。
- 指の感覚で文字を読むのが大変なことだとわかりました。
- 点字の教科書は、絵も点で表されていてすごいと思いました。
- 点字の名刺をつくるのがたのしかったです。

などといった感想をいただきました！

令和８年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	自宅でできるボランティア～カードケース作成～
2	実施社会福祉協議会	久喜市社会福祉協議会
3	協力団体	
4	活動年月日	令和８年７月２４日
5	活動場所	ふれあいセンター久喜
6	内容	赤ちゃん誕生祝い券カードケースの作成
7	活動の様子	

久喜市社協では、ご出産のお祝いと育児支援として、社協会員世帯で子どもを出産されてから満１歳を迎えるまでの世帯を対象に「赤ちゃん誕生祝事業」を実施しています。
今回、赤ちゃん誕生祝券を窓口でお渡しする時に使用するカードを作成していただきました。

作成の様子





完　成





◆ 参加者の感想 ◆

- 地域の方へのカードが手作りだということが印象に残っていて、その作成に参加できたことを嬉しく思いました。
- 沢山のシールや道具を使って作ることができて楽しかったです。誰かの役に立てばよいなと思いました。
- 楽しみながらやっているものでも誰かの助けになっていると思うと嬉しく思いました。

などといった感想をいただきました！

令和８年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	子ども食堂活動体験
2	実施社会福祉協議会	久喜市社会福祉協議会
3	協力団体	NPO 法人　きっちん・こすもす
4	活動年月日	令和８年７月２５日（土）
5	活動場所	鷲宮東コミュニティセンター（さくら）
6	内容	子ども食堂の活動のお手伝い
7	活動の様子	

きっちん・こすもすの代表者様から
子ども食堂の活動や食糧支援について
説明をいただきました。





この日は、コストコから寄附いただいた
パンやトマトをお渡ししました。
会場はパンのよい匂いでいっぱいでした。

きっちん・こすもすの皆さんが
手作りした夏らしい折り紙を、食品に
添えて、子どもたちにお渡ししました。

ボランティアの皆さんと、子ども食堂や
地域の皆さんとのつながりができた１日に
なりました。



参加者の方より

- 子ども食堂はどの年代の方も楽しめる場所だったので良い所だなと思いました。
- 子ども食堂は大人の方にも子供にも優しく、子供たちも笑顔で帰っていく姿を見て、子ども食堂についていろんなことを知ることができました。
- 子ども食堂は寄付をする人、調理をする人、食料の受け渡しをする人など多くの人が関わって成り立ち、その中でつながりが生まれていることが分かりました。

といった感想をいただきました☆彡

令和８年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	高校生・学生のための介護体験講座
2	実施社会福祉協議会	久喜市社会福祉協議会
3	協力団体	鶴寿荘介護老人福祉施設・鶴寿荘デイサービスセンター
4	活動年月日	令和８年８月２日
5	活動場所	鶴寿荘介護老人福祉施設・鶴寿荘デイサービスセンター
6	内容	介護施設で実際に使用している介護ロボット等の体験や介護食の試食を通じて介護について学ぶ
7	活動の様子	







講義や介護ロボットの体験、施設見学を通して、介護施設の概要や介護について理解を深めました。また、介護する側だけでなく、利用者の方の気持ちに寄り添うことの大切さについても学ぶ機会となりました。





介護食の試食では、管理栄養士から介護食についての説明を受け、普通食からミキサー食、補助食まで、さまざまな形態の食事を試食しました。
実際に試食をすることで、利用者の方の食べやすさや栄養面に配慮した介護食の工夫について学ぶことができました。




◆ 参加者の感想 ◆

- 車いすを押すときに気をつけること、認知症の方に接するときの心がけなどたくさんの気づきがあり、自分の視野を広げることができました。
- 車いすや介護ロボット、介護食など貴重な体験をすることができました。
- 介護用品や介護食等の介護技術が発達していて驚きました。

などといった感想をいただきました！



令和８年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	介護の現場を体験しよう！
2	実施社会福祉協議会	久喜市社会福祉協議会
3	協力団体	社会福祉法人元気村 特別養護老人ホーム しょうぶ翔裕園
4	活動年月日	令和８年８月９日（日）
5	活動場所	しょうぶ翔裕園
6	内容	高齢者の方と交流しながら介護の仕事を学ぶ。
7	活動の様子	

施設職員による講話



はじめに職員の方から施設概要や利用者との関わり、声かけについてお話がありました。

施設見学



利用者の居室や広場、浴室など施設内の見学を行いました。

利用者の皆さんと交流会



参加者と利用者とで交流会（座談会）を行い、たくさんお話をしました！

まとめ



利用者の方々から「こんなに話をしたのは久しぶり」、「元気をもらった」等の温かい声が聞かれました。

～参加者からの感想～

- 職員さんも利用者さんも皆さん温かくてすごく楽しい時間を過ごせました。
- すごくやり甲斐のあるお仕事なんだろうなと感じました。
- 入居者の方と会話などで交流することが出来て良かったです！
- たくさんお話ができて楽しかった。皆さんの笑顔が印象的でした！



令和８年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	知的・発達障がいの疑似体験
2	実施社会福祉協議会	久喜市社会福祉協議会
3	協力団体	疑似体験啓発隊「にじいろペンギン」
4	活動年月日	令和８年８月７日(金)
5	活動場所	ふれあいセンター久喜
6	内容	知的・発達障がいのある方の感じ方や困りごとを疑似体験を通して学び、新たな気づきや理解を深める。
7	活動の様子	

疑似体験啓発隊「にじいろペンギン」のみなさんにご協力いただき、知的・発達障がいの疑似体験を行いました。
様々なワークを通して、感じ方や困りごと、不自由さを学び、新たな気づきや理解を深めました。





「かいてみよう」のワーク
①りんご　②ボール　③ちょっと　④ちゃんと
について自身が考える絵をかきました。
「ちょっと」「ちゃんと」など、絵に描きにくい言葉は伝わりにくく、**具体的に伝える工夫が必要**ということが分かりました。

「やってみよう」のワーク
軍手を２枚重ねて装着し、シール貼りを行いました。
１回目：時間制限があり、焦りや不安を感じるような声かけ
２回目：時間制限がなく、前向きな声かけ
といった環境の中で行いました。その結果、**周囲の雰囲気や声かけによって、安心感や取り組みやすさが大きく変わること**に気づきました。





「聞いてみよう」のワーク
様々な生活音の中で、何と言っているか聞き取るワークを行いました。
騒がしい環境では聞き取りが難しく、**音量を抑える、一人ずつ話す、指差しなど目で見て分かる工夫が大切**だと感じました。
また、分かりやすく伝えることの難しさも学びました。





◆ 参加者の感想 ◆

- 実際に体験してみることで、人によって違うことが分かりました。
- 自分中心に考えるのではなく相手に合わせる、相手の考えていることを想像してみることが大切だと思いました。
- 温かく見守ろうとする姿勢をもっと普段の生活から心がけていきたいと思いました。
- 困っている人を見かけたら勇気をもって手助けしてあげられればと思いました。

などといった感想をいただきました！